

一般社団法人  
島田建設業協会広報誌

# iseta

vol. 142  
平成27年1月1日発行

## 新年のご挨拶

一般社団法人島田建設業協会会長 木村 紘一  
一般社団法人島田建設業協会副会長 朝倉 純夫  
一般社団法人島田建設業協会副会長 橋本 勝策  
一般社団法人島田建設業協会副会長 大石 刃吉

## 現場紹介

## 言いたい放題

トピックス・防災日誌・協会だより





# 謹賀新年



一般社団法人  
島田建設業協会会長

木村 紘一

平成27年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。会員並びに関係者の皆さまには、日頃から、当協会の運営と活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は消費税が8%に増税され、改善傾向にあると言われた景気の腰折れが懸念される中、さらなる増税は回避されたものの、現下の建設業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

昨年6月には、インフラなどの品質確保とその担い手確保を実現するため、公共工事の基本となる「品確法」を中心に、密接に関連する「入契法」「建設業法」が一体として改正され、一部は即日施行されました。これらいわゆる「担い手三法」の改正により、発

注者の責務が明確化され「最新単価や実態を反映した予定価格」「歩切りの根絶」などの効果が期待されております。

しかし、メインスタジアムとなる新国立競技場の建設も今年から始まり、東京オリンピックに向けた工事が本格化してくると、建設業の担い手不足もますます深刻化することが憂慮されます。

建設業は、東日本大震災から3年が経過し、防災・減災、老朽化対策、耐震化などの担い手として、その果たすべき役割はますます増大しています。静岡県では、地震・津波対策アクションプログラム2013を策定し、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす津波に対して、津波対策施設の整備(ハード対策)により対応することとしており、

当地域でも、関連工事や今後に備えた設計などが着々と進み、人命を守るための対策が日々続いております。

一方、昨年10月には、季節外れの台風18号・19号がたて続けに上陸、特に18号は県内に大きな被害を巻き起こし、床上、床下浸水などが発生いたしました。東日本大震災から時間が経過し、災害対策が進みつつあるとはいえ、こういった日々起こり得る災害に備えることが重要だと改めて思い知らされる次第であります。

このような災害対応の観点からも、いざというときに「地域の建設業者の不在」という災害対応空白地域を生みださないために、現在のような公共事業の減少や競争が、各社の利益率低下を生み、体力を奪っているような状況を何とか改善しなければなりません。

厳しい状況が続く中ではありますが、会員の皆さまには何とか踏ん張っていただき、協力を得ながら、調和のとれた協会運営に努めてまいりたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。





一般社団法人  
島田建設業協会副会長  
朝倉 純夫

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は、会員の皆様方には協会運営にご指導ご協力頂きありがとうございます。

昨年は非常に日本経済もムードが良くなり「このまま行くかな」と期待していましたが、長い間の疲れもあつて仲々、一本調子では難しいようです。

そんな中この処、毎年毎年予想もしなかったような災害が増えてきています。

やはり経年劣化の時が来ているようです。そして、予想を上回る地球環境の変化であるかと思われま

我々業界としては、この有事に全力で対応をしていかなければなりません。

災害対応、又事前の予防措置等、常に住民の皆様の安全確保は我々の使命です。

その為には  
この業界への入職者を増やす

技術の伝承を考える実行する

会員企業の経営基盤の強化を図る

等、先ずは今年一番の課題と考えます。

今年も一年会員の皆様にとつて、良い年でありま



一般社団法人  
島田建設業協会副会長  
橋本 勝策

新年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃、皆様には協会の運営や事業活動に格別のご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、昨年も我が国では様々な自然災害に見舞われ

豪雨による広島市の土砂災害や御嶽山の噴火などにより、多くの人命が失われ、胸の痛む思いをしたのは私だけではなかったことと思います。

また、本県においても台風18号により東海道本線の由比と興津間で線路が土砂に埋まり、10日間に及び不通となる事態が発生しました。

幸い人的被害はありませんでしたが、特に物流の面で大きな影響が生じ、日本の大動脈の弱さが露呈した形となつてしまいました。

私達が住む静岡県は、碧い海に面し、山は緑深く、さらに豊富な自然の幸にも恵まれた暮らしやすい県です。

しかし、昨年日本中で発生した土砂災害や火山噴火などの自然災害をはじめ、かねてよりその発生が危惧されている東海地震など、いつ身近なところで発生しても不思議ではありません。それだけに強靱な県土創りは重要

であると考えます。そして、その役割を我々協会員に担わせてもらえらることを切に願ひ、行政に対する働きかけを続けていきたいと考えています。

今年が、平穏な年となり、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人  
島田建設業協会副会長  
大石 卯吉

新年明けましておめでとうございます。  
平成27年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、日頃から当協会に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、気象災害、自然災害が多発した年でもありました。

全国各地で、これまで経験したことがない竜巻や豪雨に見舞われ、大きな被害が発生しました。

自然の脅威と地球温暖化問題の深刻さを、認識させられることとなりました。

我々建設業の使命は、社会資本の維持管理を通じて、地域経済の維持・向上に貢献し、災害時における地域住民の安全・安心を守ることにあります。

我々建設業界では、現場管理者や技能労働者の不足状況が続く中、4月からの消費税増税に伴い、人件費や資材費の高騰で他県では、入札参加を辞退する企業が増えたと伝えられています。

消費増税を控えた駆け込み需要から一転、民間工事が減少する中、公共工事も一巡し、景気への影響も厳しくなるかと思ひます。

会員一丸となつて、景気回復が実感できるよう、自ら行動していく年にしてまいりたいと思ひます。

今年の干支は、「未ひつじ」十二支の中で8番目です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。

皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありま



着  
手  
前



施工状況



完 成

コ  
メ  
ン  
ト

大型機械の搬入路がなかったが、地権者の協力により設置することができ、撤去、搬出、本体施工など、計画通り行うことができた。

工 事 名	平成25年度 県単治山(施設等管理)新代沢工事		
工 事 個 所	島田市川根町家山地内		
工 期	平成25年10月9日～平成26年5月30日		
施 工 者	高橋建設株式会社		
発 注 者	静岡県志太榛原農林事務所		
現場代理人	白井雅裕		
工 事 概 要	撤去鋼材	9 t	
	置換えコンクリート	222 m <sup>3</sup>	
	間詰工	31 m <sup>3</sup>	
	洗掘防止コンクリート	32 m <sup>3</sup>	

# 現 場 紹 介

着  
手  
前



施工状況



完 成

コ  
メ  
ン  
ト

現場は、お茶畑に囲まれた農道であるため、一番茶が終わり乗込んだが、消毒・下刈り等の車両が多い中での拡幅工事のため、苦労しました。

工 事 名	平成26年度 畑地総合整備(担い手支援)東光寺岸地区農道1工事		
工 事 個 所	島田市東光寺地内		
工 期	平成26年5月1日～平成26年11月10日		
施 工 者	株式会社 グロージオ		
発 注 者	静岡県志太榛原農林事務所		
現場代理人	鈴木康道		
工 事 概 要	農道工事	267 m	
	土工掘削	1,180 m <sup>3</sup>	
	残土処理	980 m <sup>3</sup>	
	ブロック工	686 m <sup>3</sup>	
	側溝工	138 m	
	重力擁壁	1 式	
	安全施設工	1 式	

着手前



工事名 平成25年度 菅ヶ谷谷川急傾斜地崩壊対策(一般-その他)【防災・安全交付金】工事(擁壁工)

工事箇所 牧之原市菅ヶ谷地内  
工期 平成25年9月5日～平成26年9月19日

施工者 相良建設株式会社  
発注者 静岡県島田土木事務所  
現場代理人 大川典一

工事概要	施工延長	228m
	1号重量式擁壁	33m
	2号重量式擁壁	15m
	3号重量式擁壁	67m
	1号もたれ式擁壁	10m



施工状況



完成

コメント

住宅に隣接している山裾に擁壁を設置する工事です。狭く足場の悪い中での作業で苦労しました。

## 安心・安全な暮らしのために…

着手前



工事名 平成24年度(国) 150号社会資本整備総合交付金(国道橋梁改築(2次))工事(新助蔵橋A2橋台工)

工事箇所 焼津市惣右衛門地内  
工期 平成24年8月30日～平成25年6月14日

施工者 株式会社 原川土木  
発注者 静岡県島田土木事務所  
現場代理人 宮上圭太郎

工事概要	橋台工	
	場所打ち杭工	12本
	躯体工	1式
	法覆護岸工	190㎡



施工状況

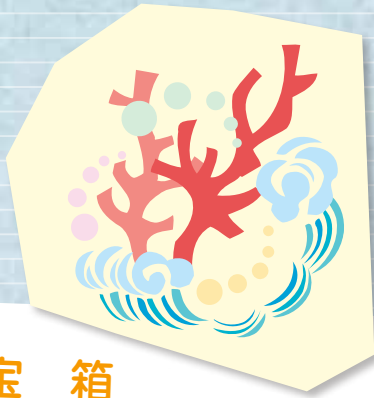


完成

コメント

大雨による河川の増水には掘削法面を破壊されるなど何度も苦労させられました。関係業者の協力のもと無事に工事を完成することができました。





## 宝 箱

近年、日中関係の緊張状態が続いている。

歴史問題から最近ではサンゴの密漁まで、多様な問題があるようだ。しかし、中国人はなぜ日本へ来るのか？尖閣国有化の際は反日デモにより、中国人の日本旅行は一気に冷え込んだが、いまや完全にその勢いを取り戻したと聞く。

反日デモの時は、日本の国旗を燃やし、車・電化製品・店舗、あらゆる日本製品が標的となるが・・・？

排他的経済水域の主張は日中のみならず、どこの国でも意見が対立しているのであろうが、小笠原諸島周辺のサンゴ密漁、あれは完全に日本の領有権内である。その範囲内で行われている密漁に対し、日本側がビクついているのは何故なのか。密漁の対象である、赤サンゴは何十年・何百年という単位で成長したものらしい。そしてそこに住む魚群や海洋生物の生態系がまさに自国の宝箱ではなからうか。

領土問題・政治問題・経済問題・歴史問題、簡単に解決できる問題ではないが、宝箱荒らしには厳戒な体制で対処して頂きたいものである。

# 言 いた い 放 題

## 国際的（グローバル）？

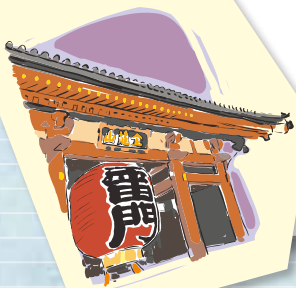
昨年京都へ遊びに行った折、着物姿の若い女性を大勢見かけました。古い都によく映えており、いいもんだなーと眺めていたのですが、何か少し違う感じがするのです。そのほとんどが東南アジアからの旅行者で、近づいて来ると何語か解らない言葉でペチャクチャ、ペチャクチャと楽しそうに話しながら通り過ぎて行きます。

日本も国際的になったもんだと、改めて感じました。先日は東京でも同じような光景に出会いましたが、その数が半端ではなく、観光客の大半が外国人、その中でも8割位が東南アジアからと思える旅行者です。浅草・上野・銀座と、どこに行っても同じような場面を見る

事が出来ます。

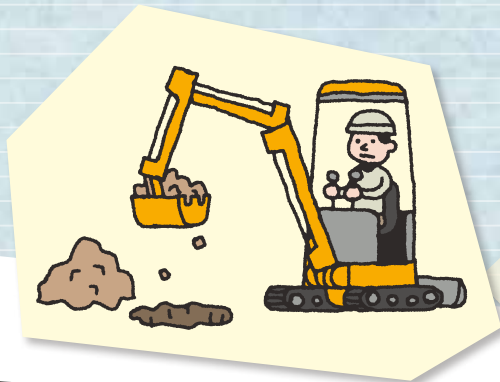
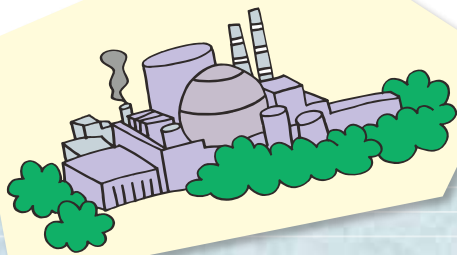
円安の今、日本の優秀な製品や、安全で美味しい食料を大量に買い込んで帰るのだそうです。

これがグローバルなのでしょうか？我々も一日も早く、国際的な環境に慣れないといけない時が、すぐそこに迫っているようです。



## 原発デメリットを地域メリットに

今、原子力規制委員会の審査で再稼働の許可が下りようとしています。東北の震災時の規制よりずいぶんと安全性は向上したと思いますが、原発立地20km圏内のBCP（災害時事業継続）を行っている企業には、原発が稼働すれば移転したいと言っている所もあります。こんな地域デメリットを解消する為、電力会社の本社を原発20km圏内に置いたり、周辺地域の電気料金を現況の半分にしたり、更なる交付金の上積み等で地域デメリットをメリットに変えてはどうでしょうか？



## 納得のいかない歩掛

林道工事において、コンクリート路面工を施工することが近年多くなってきており、勾配が10%以上の箇所用いられるようだ。

施工方法は、型枠を15cmの高さに組立、コンクリートを道路幅員全体に打設するという作業である。

言いたいのは、この作業における手間代についてだ。

歩掛では、コンクリート打設手間は計上されているが、型枠を組む手間が落ちており、この事を設計照査で上げても諸雑費の中に入っていると言われる。

諸雑費は、歩掛では労務費の5%しかなく、その中身は、打設にかかる機械損料、燃料代が主であり、それでも型枠の手間代として計算しても100㎡当たり5,400円程度の金額しかない。

実際、現場では型枠15cm組み立てるのには、それ相応の人工が必要で、型枠資材費用も掛かってくる。

昨年施工した箇所では、幅員3.5mで1,300㎡施工した。

型枠工の歩掛で積算すると100㎡当たり約29,300円で、差額が約△24,000円となる。1300㎡では、約△310,000円となり、この差額分を実費で施工したこととなる。また、これ以外にも、縁切り材の設置間隔も5mごとに設けることなども義務づけられている。

これを自分の財布から負担すると思えばどう感じるのか。このように負担する側の立場にもなって考えてもらえれば、この実情がよく理解できると思うので、一度真剣に考えてみてほしいものである。



# 労働災害防止に貢献した個人、 事業場が栄えある受賞

安全で快適な職場づくりを目指し、災害防止活動の強化を図る契機とするため、「創立50周年記念静岡県建設業労働災害防止大会」が開催されました。  
大会において、労働災害防止に長きにわたり貢献した個人、会社及び安全標語の受賞者がめでたく表彰されました。

## 平成26年度支部長表彰

平成26年10月17日（静岡労政会館）



（株）梶山組

**事業場賞**



（株）トウズリー（木下建設工業（株）推薦）

**事業者賞**



中恵 勉（大河原建設（株））

**功労賞**



山岸 明（山岸建設（株））

**功労賞**



奥山徳行（株橋本組）

**功績賞**



曾根 岳（株）山田組



今村雅良（株）加藤組

**職長賞**



## 平成26年度安全標語支部長表彰

平成26年10月17日（静岡労政会館）



宮上圭太郎（株）原川土木

**佳作**

全員で一致団結 ゼロ災運動

深まる絆と高まる安全

## 平成26年度 静岡年年始無災害表彰

平成26年度静岡年年始無災害運動



加茂俊明（株）神田組

**最優秀標語**



あせるな年末、ゆるむな年始、  
いつもの気持ちで無災害



## 広報委員会研修旅行記 「ときとき」な街



今年の広報委員会は、ときわ荘の漫画家、藤子不二雄A氏の出身地富山県氷見市を研修先に選び訪れた。又、雪吊りの金沢兼六園にも興味を魅かれ足を延ばし訪れた。

忍者ハットリくんや怪物くん  
のキャラクターが街にあふれて  
いるここ氷見市は藤子不二雄A  
氏の生家「光善寺」がある。そ  
の境内には忍者ハットリくん・  
怪物くん・プロゴルファー猿・  
喪黒福造などの等身大の石像が  
並んでいる。市内にはA氏の漫  
画が溢れる通り「まんがロード」  
があり、そこを歩くのも楽しい

が、触れることの出来る石像にもまた違った魅力がある。光善寺は、650年以上の歴史を持つ加賀藩前田家ゆかりの古刹でA氏の父上はこちらの第49代住職であったことを聞いた時には大変驚かされた。



宿でおいしい料理とお酒を堪能

今回は時間や日程の関係から残念ながら乗車は出来なかつたが、氷見市には市街地周遊バス「怪物くんバス」やJR氷見線「忍者ハットリくん列車」が走っており、A氏ファンでない人たちでも十分に楽しめる街であることは言うまでもない。

は、しゃぶしゃぶで食すにはまだ時期が少し早かったのとお刺身で頂き、解禁され今が旬のベニずわいがにをフルコース食し、べに氷見うどん。まさにすべてが絶品の一言であった。氷見市は江戸時代には加賀藩の重要な港のひとつに指定されていた。それも頷ける。本当に氷見市



白えび丼



兼六園

翌日、加賀百万石の文化を映す、歴史的文化遺産兼六園を訪れた。「雪吊りの兼六園と紅葉」をテーマにガイドの下、園内を巡った。朝は雨も降っていたが、兼六園に到着するころには雨は上がり、傘に邪魔されることなく雪吊りの姿を堪能でき

た。さすが水戸偕楽園（かいらくえん）、岡山後楽園（こうらくえん）と並ぶ日本三名園のひとつであると感じたと同時に江戸時代の代表的な大名庭園として加賀歴代藩主により、長い歳月をかけて形づくられて来たことにも驚かされた。雨で多くの葉が落ちてしまい、残念ながら紅葉を楽しむには少し遅かったようだが、園内の散策を十分に楽しむことが出来た。

（K・N）



## 防災委員会研修旅行記 ワンボックスで巡る伊豆の旅

11月7日(金)、8日(土)と建災防島田分会防災委員会(安全委員会)では、今年の研修先として伊豆に行つて来ました。

今回は、委員11人と事務局長の合わせて12人でバスではなく、乗用車2台に分乗し、協会を出発。

新東名「藤枝岡部IC」から「長泉沼津IC」経由で、第一目的である三島市にある三島大社へ安全祈願の参拝に行きましたが、七五三と結婚式が行われており、駐車場が満杯で警備員に聞くと「何時空くのか判断できない。」とのことから断念し、ちよつと早めですが第二の目的

である昼食を戴くこととしました。

ここで、現場から一旦合流する委員1人と待ち合わせ、総勢13人で昼食会場へ。三島名物のうなぎは、富士山の湧水にさらされることにより、臭みや余分な脂肪がとれ、よりおいしくなるということで、「うなぎ」の老舗が多いことから、インター

ネットを検索した「うなぎ」へ直行。本日の夕食を考慮し、うなぎを注文しましたが、確か

においていたできませんでした。昼食後は、現場へ戻り、夜宿で合流する1人を除いて、第三の目的地である旧中伊豆町「筏場わさび田」の見学。山の



筏場わさび田



黒根岩風呂

パークネットワークへの加盟を目指している東伊豆の海岸線を目撃して、途中午飯を買い、東伊豆町北川温泉に、途中缶ビールやつまみなどを購入。国道135号を海岸線に下つていくと、今夜の宿泊を予約した旅館「大屋丸」に到着。

部屋割りと同時に、缶ビールを飲む人、近くの海岸線を散歩する人。中には、熱川温泉までお土産を探しに行く人と、夕食までの一時をそれぞれが楽しみました。

宿の前は、定置網の荷揚げとなつており、大屋丸のご主人も定置網で、様々な魚をとつているとのことであったが、先の台風18号により定置網が破れ、修理が間に合わないとのこと、少し残念な気はしますが、地魚を中心とした夕食が楽しみです。

夕食までの間に、旅館の風呂で暖まり、海岸端に造られた露天風呂「黒根岩風呂」へ。観光客も宿のタオルを見れば、無料で入浴ができ、「対岸にアメリカが見える」という露天風呂は、入口

側が男性用には2つの浴槽が、その奥に女性用の浴槽が建物の中にありますが、男性用と女性用の簡易な建物の間には、男性用の2つの浴槽のうち、女性側に近い浴槽は混浴

とか。当然、水着を着て

の話です。残念ながら今回はお目にかかれませんでした。楽しみにしていた夕食は、地魚の新鮮な刺身、鍋料理と量も多く食事を堪能しました。

翌日は、東京へ出かける人、また、沼津の現場に戻る人と別れ、1台は三島駅経由で念願の三島大社で安全祈願の御参りしながら帰宅、もう1台は、「金目の開き」の購入を目的に、一路、小田原市内へと別れて、それぞれ目的地に出発。

車を運転していただいた方々、有り難うございました。全員、それぞれの目的を達して無事帰宅することができました。皆さんお疲れさまでした。

(H・K)



合間から流れる地下水を利用したわさび田は、水温・水量が安定した清廉な湧水が、風味豊かな新鮮な良質のわさびをつくること。中腹から下流一体が全てわさび田で、その規模にビックリ。皆さまも、伊豆方面に出かけられましたら、是非見学してください。帰りには、山本委員長の知り合いのわさび農家へ立ち寄り、お土産用のわさび61本を注文し、一路宿のある東伊豆町へ向け、まずは大室山周辺に向けて出発。

大室山の山麓、上空にロープウェイが見える公園で休憩しましたが、桜の名所とか。この時期、「10月桜」が数本咲いており、河津桜より早い花見となりました。

これから、一路宿を目指して、伊豆半島ジオパークの世界ジオ



# 災防日誌

災害防止への取り組み

## 「建災防」の自主パトロールを 管轄地域の地区内で行いました。

今回パトロールした現場の1箇所目は法面工事の現場で、『作業手順書』の確認をしましたが作業手順を良く周知・教育して作業者に徹底教育していました。また、危険箇所と思われる箇所を重点に巡視したのですが、問題もなく一昔前なら、作業の優先順位や、リスクアセスメント等の言葉など無く朝、現場に来て夕方、帰る作業現場が今は安全に全員が取り組む姿勢がうかがえるようになって来ました。あなどりと段取り不足が無いよう各作業所が良い方向に向かっていきます。安全パトロールで巡視する作業所が協会員と協会員以外の現場での安全対策に違いがある様に思います。



県内では労働災害が非常に増えており、特に小規模や短期工事での労働災害が増えています。私も作業員とかわらない仕事をしながら丁張りの出し方、仕事の方法などをいちから覚え出した頃をなつかしく思い出しながら現場が完成した時の喜びや仕事のおもしろさやむずかしさを感じながらのくりかえしだったように思います。だからこそ、1に安全・2に安全どの作業所も無事故を祈ります。

島田労働基準監督署管内でも、いつ災害が起きてもおかしくない状態です。

他の会社の現場を確認させていただき、お互いに災害が起きないようにこれからも努力して行きます。

(M・K)

電球から

LEDへ  
流れ

2014年のノーベル物理学賞は、3人の日本人でした。本当にオメデトウございます。最近では、電気店に足を運んで電球を買に行くのと、もう、フィラメント式の白熱電球は、ほとんど販売されていません、この電球は、それまでのランプの時代からエジソンが発明、それ以来130年近く世の中を照らし続け、当時はこの発明で世界が一変しました。

さて、LEDの発明は、今から50年ほど前に、最初は赤色だけでした、その後緑色がそして今回の青色が出来、現在のLED電球になりました。このLEDは、エネルギー消費量も少なく東北の震災以降の日本のエネルギー危機を救ったと云っても過言ではないでしょう。でも、中村教授と日亜化学と発明の対価について裁判になったことも御承知の通りですが、この発明の評価は日本ではさほど大きなものでは無かったようです。今後は白熱電球に代わってLEDの時代・より消費電力が少なくより明るくより大きな発光素子と成って世界中を照らすことでしょう。



(S・U)





## ●正副会長会議

- 第6回会議 12月16日(火) 当協会
- ・全建表彰及び県協会長表彰受賞者の推薦について
  - ・協会事業の運営について
  - ・新年官公庁挨拶回りについて
  - ・新年賀詞交歓会の開催について

## ●総務委員会

- 年末の交通安全県民運動への参加
- ・平成26年12月15日(月)～31日(水) 全会員

## ●広報委員会

- 第7回委員会 10月3日(金) 当協会
- ・広報誌VOL.142号の企画
- 第8回委員会 12月5日(金) 当協会
- ・広報誌VOL.142号の校正
- 第9回委員会 12月12日(金) 当協会
- ・広報誌VOL.142号の最終校正

視察研修

- ・11月28日(金)～29日(土)「富山県氷見市・石川県金沢市」

## ●環境・災害対策委員会

- 静岡県鳥インフルエンザ防疫総合演習  
(埋却用地事前掘削作業の視察) への参加
- ・10月27日(月) 県畜産技術研究所(富士宮市)
- 中部地方整備局静岡河川事務所地震防災訓練への参加
- 12月12日(金)
- ・静岡河川事務所島田出張所への参集訓練
  - ・緊急復旧対応協力者の出勤要請・応諾訓練
  - ・緊急復旧資材搬送訓練

## ●建災防島田分会

- 安全パトロール
- ・第6回 10月21日(火) 5地区

- ・第7回 11月19日(水) 5地区

- ・第8回 12月18日(水) 5地区

創立50周年記念 静岡県建設業労働災害防止大会への参加

- ・10月17日(金) 静岡労政会館 視察研修

- ・11月7日(金)～8日(土)「伊豆市・賀茂郡東伊豆町」

## ●常設委員会委員の交替のお知らせ

- ・環境・災害対策委員
- 9月30日付け退任者:石川正之 (㈱特種東海フォレスト)
- 10月1日付け新任者:下田晴之 (㈱特種東海フォレスト)
- ・広報委員会
- 11月30日付け退任者:蓮池時夫 (相良建設㈱)
- 12月1日付け新任者:大石健仁 (大石建設㈱)

## ●各種催事等

- 10月28日(火) 東海四県ブロック会議 (岐阜市)
- 11月21日(金) 中部地方整備局との意見交換会 (静岡グランドホテル中島屋)
- 12月3日(木) 「地域の暮らしを守り、未来を創る。『静岡県建設産業の主張2014』」(グランシップ)

## ●今後の予定

- ・一般社団法人島田建設業協会「平成27年新年賀詞交歓会」
- 日時 平成27年1月9日(金) 17:00～
- 場所 焼津グランドホテル
- ・静岡県建設産業団体連合会「賀詞交歓会」
- 日時 平成27年1月14日(水) 12:30～
- 場所 グランディエールブケトーカイ
- ・静岡県交通基盤部幹部との意見交換会(静岡県建設業会館)
- 日時 平成27年1月22日(木)
- 場所 静岡県庁内会議室

## 鳥インフルエンザ 防疫総合演習開催

去る10月27日(月)当協会「環境・災害対策委員会」は、県畜産課が主催した10月30日(木)の鳥インフルエンザ防疫総合演習前の「埋却清事前掘削作業」を視察するため、富士宮市猪之頭地内にあります静岡県畜産技術研究所放牧地へ行ってまいりました。

富士山をバックに、広大な牧草地の中で演習用埋却溝(深さ4m×底面8m×4m)を、0.7mバックホウにて、富士建設業協会の会員企業が掘削を行っておりました。

現場は、「埋却マニユアル」通りの掘削勾配でしたが、強固な地質とは言え、上から見れば約90度に感じる埋却溝であり、鳥インフルエンザが発生した場合、72時間以内に埋却作業を終えなければならないことを考えると、改めて大変な作業となることを実感しました。

作業の一層の安全対策(土質に応じた掘削勾配・地山の崩壊防止対策等)と、管内4市2町の養鶏農家の場所や地形・地質・進入路の確保など、事前のシュミレーションがいかにか、大切であるか、改めて思い知らされた視察でした。



## 【表紙解説】

今年で20回目を迎えた、島田市大代地区の村おこしグループ「王子田会」の製作する“ジャンボ干支”です。地元に戻ってくる人を迎え、交通安全を祈願する羊のオブジェです。見学者が多いため、今回から従来の場所よりも1kmほど山側に移動しました。